

区の好きなおところ

- ・ Old meets New

老舗店舗や 100 年企業が多く存在し、代々住み続ける住民がいる一方で、新たに移り住む人や、移転したり創業で新たに仲間になる事業者も多く、新旧が融和して共栄できる環境にある。

- ・ 区内企業には業歴の長い老舗企業も多い。そうした会社では 2 代目 3 代目の若手経営者が新たな事業展開を目指して、クリエイティブな活動をしている。そうした企業から生まれてくる墨田の新しい製品や事業には目を見張るものがある。

- ・ 商業としての観点はともかく、区の面積に対してかなりの大型商業施設があり、それにより近隣含め多くの人を訪れるようになっている。

- ・ 商業施設が多い。

改善すべきところ

（産業）

- ・ ものづくりのまちとして発展してきた中で、町工場など事業所の数が減少している。既存の工場に代わって新たに住宅に置き換わっていく中で、住宅、工場との混在する状況において生活環境の調和が円滑に図られていること。

- ・ 良質な技術力の保持継承の支援と日本伝統芸のクローズアップ支援

例:① 良質なモノ作りで地域産業に貢献する企業・職人さんの支援体制を検討し後継者育成の土壌を助成する。② 墨田で活動をする日本の伝統芸術・芸能を継承する団体と親睦を強化し協働(向島墨堤組合・五代目三遊亭園楽一門会など)従来から定番としている観光資源(北斎・相撲・刀剣・交響楽団)と等しく【生きた伝統芸】がこれからも墨田を礎に活躍が出来、発展が叶うよう、携わる方々への新規転入居の誘致も含め支援の実施を検討されてはいかがでしょうか。

- ・ 企業のスタートアップ支援も重要だが、それらの企業が何年事業継続し、墨田区に根付いてくれるのか検証が必要である。既存企業の事業継承が厳しい中、SIC の役割が既存企業への支援になっているとは思われない。具体的な支援方法はわからないが、もっと既存企業の廃業の分析を行い、対策をとった方が良いのではないか。また、ライオンや正徳硝子のように土地が少ない墨田区だからこそ、優良な企業が他地域に転出しないよう上位職が自分ごととして対応してくれることを期待する。

- ・ 地域の産業が不安になること。

（商業）

- ・ 商店が成り立つための助成や情報発信の工夫・商店街の活性化

例:① すみここ(小冊子の復活) ② 商店街に保育所を設け子育て世代・次世代が馴染める町の動線を作り出す。

- ・ スカイツリーやオリナスなど、商業施設ばかりに人が集まり、経済が潤っていると感じ、周りの小さなお店や墨田区に本社をもつ企業に循環しているか不安になる。

区予算を使った電子マネー（PayPay）のキャッシュバックも人気のある同じ店ばかりで利用されている印象。

まち全体として大切にしていけるべき理念

- ・「ものづくり」の姿が道端から見て楽しめるまち。
- ・伝統と革新が融合したまち。
その街の古くからあるものを再定義して、新しい価値を生み出すような、新しさの中に街の歴史を感じさせる都市開発を行うべき。
- ・単に壊すのではなく、使われなくなった廃工場や旧校舎、旧行政施設をリノベートして、クリエイターやものづくり、体験、コミュニティの拠点を作り、古いものを活かしてほしい。
- ・ものづくりの場の見学・体験を通じて子どもたちに墨田区がもつ力の実感を。
- ・ものづくり産業の伝統や技術を、新しい産業に活かす。
- ・従来からの地域特性に応じた整備の実施。（新旧に軋轢を生じさせない調和）
- ・新しく集まってくる人だけでなく、古くから暮らしている人も大切にする。

人として大切にしていけるべき理念

- ・「ものづくり」の伝統と創造性を尊重するすみだ文化の醸成。
- ・歴史と文化を重んじさらなる発展に向け歩むこと。
- ・伝統を学び、大切にするとともに新しいことにチャレンジ。
- ・墨田区の歴史や生活文化を住んでいる街のことを知ること。
- ・歴史のある建造物を大切にし、伝統的な文化を学び、次代に継承する。
- ・墨田区に合う新しい文化を受け入れて、広げる。